

玉川上水・野の花だより No. 20

ネイチャアポジティブ (Nature Positive)

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026 年 6 月 22 日

渋谷区における国指定・史跡の2か所は、野の花だより No. 19 のハンゲショウ（半夏生）でも御紹介したように、大都会に残された「奇跡ともいえる生物多様性の宝庫」です。第三号橋～笹塚橋の国指定史跡のエリアでは、早春には、ニリンソウが咲き、5月になりますとエゴノキが、真っ白の垂垂の花をつけます。カモが緩やかに泳ぎ、6月にはホタルブクロやガクアジサイが満開となります（次ページの写真参照）。6月16日には、ノカンゾウが開花しました。緑の海原のような草原から、太くて力強い茎がのび、先は二分し、各枝に上向きに花をつけています。花卉は6枚で、花の色は橙色、同じ仲間にヤブカンゾウ、ハマカンゾウ、ユウスゲ等があり、夏の風物詩です。

カンゾウという名前は、日本名では「萱草：ワスレグサ」で、花が一日で終わると考えられていたことから、このような名前がつけられました。英語では Daylily、独語では Taglilie とよばれます。実際には翌日、翌々日にも咲いていました。通常、親しまれているワスレナグサとは無関係です。宮沢賢治の

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ

雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ」

を思わせる、たくましい夏の花です。皆様、どうぞ現地を訪れ、「元気の御裾分け」に預かりましょう。



ノカンゾウ 2026 年 6 月 16 日撮影

(左岸側で、護岸工事が開始されました)

＜奇跡の玉川上水の秘密＞

ほとんど、見ることのできない武蔵野の様ざまの野草が、何故、この国指定史跡のエリアでたくましく生きているのでしょうか？

それは、市民や行政による江戸・東京の文化的資産として玉川上水を守る取り組みが、世代から世代へと継承されてきたからにほかなりません。

東京都は、平成 11 年(1999)、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、玉川上水の開渠部分を「東京都玉川上水歴史環境保全地域」に指定しました。次いで、国は、玉川上水開削 350 周年を記念し、平成 15 年(2003)、開渠部を「史跡」に指定しました(文部科学省告示第 137 号)。さらに、平成 19 年(2007)、東京都は景観法に基づく東京都景観計画を施行、「美しく風格のある東京の再生」を目標とし、玉川上水を「景観基本軸」として明確に位置付けました。また、沿川には、数多くの分水網があり(千川上水・野火止用水・三田用水等)、様ざまの市民団体が玉川上水を保全する活動を展開しておられます。平成 24 年(2012)3 月には、最下流の新宿御苑から大木戸門に至る地区において、新宿御苑トンネルの湧出水を活用し、「玉川上水・内藤新宿分水」が整備され、皆様の憩いの散歩道となっています。

令和 7 年(2025)1 月、東京都水道局は、「史跡玉川上水整備活用計画(改訂版)」を策定され、中流域を対象として、水路・法面の保全、名勝「小金井(サクラ)」の保全、活用、植生管理を進めておられます。

これらの基本的保全方針は、開渠である下流部の国指定史跡にも適用されており、東京都水道局におかれましては、「自然環境を保全し、かつ土木遺産としての玉川上水を、未来につないでいくという」、困難な取り組みを、長年、継続的に実施しておられます。

適切な植生管理、草地の維持、水路の保全等、東京都水道局の地道な取り組みが、「奇跡の生物多様性の場」を生み出してきたのです。

これは、現在、ネイチュア・ポジティブ(Nature Positive)として、世界各国が取り組んでいる

「2020 年を基準として、2030 年までに自然の損失を食い止め、反転させ、
2050 年までに完全な回復を達成する」

という世界的な社会目標の最先端に位置するものです。その実績は、過密都市においても、ネイチュアポジティブ(Nature Positive)の実現が可能であることの優れた事例として、

「奇跡のネイチュアポジティブ：玉川上水(稻荷橋～笹塚橋)」
を、発信していくべきと考えます。

「奇跡のネイチャポジティブ：玉川上水（稲荷橋～笹塚橋）」（事例：写真）

1. 早春の玉川上水 第二号橋～笹塚橋を望む（2026年4月3日撮影）

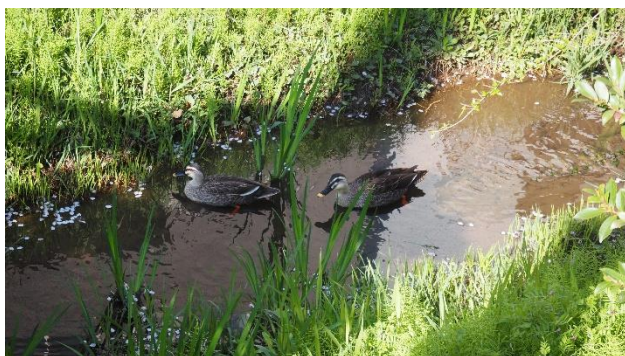


手前からガクアジサイ、エゴノキ、サクラ、エゴノキ
林床にニリンソウの群落



ニリンソウの群落（2026年 4月6日撮影）

2. ゆったりと泳ぐカモ (2026 年 4 月 18 日)



3. 満開のエゴノキ (2026 年 5 月)

玉川上水中流域では、いたるところに見られるエゴノキです。下流部では、このエリアの 3 本が唯一の生育している場所です。初夏に白い花を、たわわにつけ、おしべがクリーム色で、そのコントラストが美しい花です。



4. ホタルブクロ



稻荷橋から笹塚橋までの国指定史跡玉川上水には、ホタルブクロの群落が見られます。都心で、これだけの豊かな群落が成立している場所は、ほかにありません。 2026 年 6 月 19 日 (玉川上水国指定史跡：第三号橋～笹塚橋間)